



しおかぜ



令和5年度がスタート

令和5年度がスタートしました。

ここ3年間で、新型コロナウイルスで振り回された年でした。少しずつではありますが、日常を取り戻しつつあります。しかし、道場での稽古では、もう少し「体温測定」、「手指の消毒」、「マスク着用」を継続したいと思いますので、ご協力をお願いします。

また、特別稽古や合宿等の道院行事についても少しずつ、以前の状態に戻して行きたいと思えます。「ステップアッププロジェクト」



稽古合間の絵本タイム



元気に稽古

を推進し、活気ある道院にして行きたいと思えますので、ご協力をお願いします。

大澤隆管長 縁起

誇りを持って一生懸命に取り組む
4月、新しい年度の始まりです。



一般拳士の稽



マスクを外す場面も増え、社会全体が元の生活に戻りつつあることを実感いたします。また春のうらかな気候は、自然と私たちに希望をもたらしてくれます。

さて、この春、新天地に身を置く方もいるかと思いますが、同じ場所であってもメンバー構成が変わるなど何かしら環境の変化があるのではないかと思います。しかし、私たちは世界のどこで生きようとも、自己確立、自他共楽の教えを役立てることができません。何か新しいことを始める場合、まずは自分自身の可能性を信じることで、周囲に

今後の予定

- ◎ 4月16日(日) 9:00~16:00 宮城武専・昇格考試(青葉体育館)
- ◎ 4月28日(金) 13:30~16:30 塩竈教区昇級試験(塩竈道院専有道場)
- ◎ 5月 3日(水) 9:00~15:30 仙台市大会(青葉体育館)
- ◎ 5月28日(金) 13:00~16:00 特別稽古(塩竈道院専有道場)

流されない強い意志を持ちましょう。初めは一人であっても凡事徹底して行うことができ、より多くの人を幸せにすることができ、たとえうまくいなくても、その原因を明らかにして、反省し、やり直すことで良い結果を生み出すことができます。



稽古前のウォーミングアップで

また、入門式の表白文に、「小錬せば小成し大錬せば大成す」とあります。それなりの努力であれば結果もそれなりのもので終わります。一方、自分が取り組んでいることに誇りを持つて一生懸命に行えば、大きな結果を生むことができます。これらのことは、決して一部の大人だけにしかできないものではなく、老若男女、誰であってもできるものとして、開祖は少林寺拳法を遺してくれています。

日々の修行で培ったことを信じ、どうか夢や希望を持つて新しい年度をスタートしていただきたいと思います。今月も共に金剛禅運動に邁進していきましょう。

中国古典 紹介

「これ賢けんこれ徳とく、よく人ひとを服かくす」を掲載

『三国志』

『三国志』の劉備りゅうびが呉こと戦いくつて大敗たいばいを喫く

し、丞相じやうしやうの諸葛孔明しよかくこうめいに後事こうじを託たくして白帝

城じやうで死去しよこしたとき、わが子劉禪りゅうぜんにあてて一

通とおの遺書いしよをしたためている。そのなかに、この言葉ことばが出てくるのである。その中で劉備りゅうびは、「人生じんじやう五十ごじゆまで生きれば短命たんめいだとは言

えない。まして私は六十余歳。恨むこともないし、悔やむこともない。ただひとつ心にかかるのはおまえたち兄弟けいだいのことだ」と語り、次のように述べている。

「小さな悪だからといって、けつしておこなつてはならぬ。賢けんと徳とく、この二字ふたごが人を動かすのである(これ賢けんこれ徳とく、よく人を服かくす)。そなたの父は徳とくに欠けていた。この父になつてはならぬ」

劉備りゅうびは、謙虚けんこと信頼しんらいをもつて部下ぶかに接した。言わば、他の誰たれよりも徳とくを身につけていた人である。それなのに、「私は徳とくに欠けていた」と反省はんしやうしているところが、いかにも劉備りゅうびらしい。



一般拳士の稽古